

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【特別の教科】種目【道徳】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の教科書番号	1年 721	2年 821	3年 921

観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現 ①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 ・1年は郷土の学習、2年は国の学習、3年は国際理解の学習をそれぞれ重点項目とするなど、段階を経て考える範囲が広がっていくように配慮されている。また、巻末に学期ごとの自己評価用紙がついている。 ②自分の経験やその時の考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材の充実 ・自分の視野を広げて多様な観点から考える手がかりとして、「Plus(プラス)」の頁が設けられている。自分の経験や考え方、感じ方を3行程度で書き込む欄として、「つぶやき」のコーナーがどの題材にも設けられている。 ・題材末に、主題について考える問いと、自分のこととしてこれからのことを考えられるような発展的な問いが示されている。 ③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」などの多様な学習方法や活動形態等の充実 ・読み物教材の読後、グループでの役割演技を通して話し合い、考えを広げたり深めたりする「Action!」の頁を設けており、それを通して感じたことを教科書に書き込めるようになっている。 ・気持ちを視覚化する「心情円」が巻末に紹介され、自分だけでなく、他の人の心情や考え方も可視化されるため、より活発な話し合いを行うことができる。 ・「話し合いの手引き」として、進め方がわかりやすいように示されている。 ④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関する題材やグローバル化が進展する国際社会に関する題材、情報モラルなど現代的な課題に関する題材の充実 ・世界の人々に何ができるかを考える題材として、インドネシアの子どもの栄養状態、杉原千畝のビザ発給、世界に生きるこどもの写真が取り上げられている。 ・現代的な課題について、情報モラルでは、中学生が日常的に接しているSNSを題材にして、友情について考える題材が全学年で掲載されている。また、いじめの問題に関して、イラスト、読み物、漫画、コラム等を組み合わせた題材が全学年で掲載されている。 ・我が国の伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる題材が8題示されている。また付録題材として3年間に渡り各都道府県の人物や伝統について紹介してある。 ⑥生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫 ・生徒の興味・関心を高めるために、「郷土のことを考える」で郷土の発展を支える人物や伝統が取り上げられている。また、生徒の自主的、自発的な学習につながるよう第2学年では「読書で広げる道徳」の頁が設けられている。 ・各学年、心情円とホワイトボードがついている。
	(2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分や表記、その他使用上の便宜等 ・「いじめ」と「いのち」については、3年間を通してテーマを同じにし、複数の時間をかけて指導ができるようにはっきりと重点化されている ・年間35時間分の題材として、各学年30教材と付録教材が5つ取り上げられ、補充・深化の役割が果たせるよう配慮されている。題材名の下には関連する教材が示されている。いじめ、いのちのテーマでは複数の題材を関連付け、多面的・多角的に見られるように工夫されている。

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【特別の教科】種目【道德】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称	学図
学年別の教科書番号	1年 722	2年 822	3年 922
観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現 ①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 ・中学生の発達段階を意識し、学年を追って発問内容や「心の扉」の記載内容を深化させていく配慮がなされている。 ・題材の最初に主題と内容項目、題材末に「学びにむかうために」という考える観点が示されている。 ・「向上心、個性の伸長」に関わる題材がどの学年も1つずつ発達段階を踏まえて掲載されており、自分自身の生き方を考える構成になっている。 ②自分の経験やその時の考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材の充実 ・題材末の「学びにむかうために」には、「考えよう」「意見交換」「見つめよう」3つの問いが掲載されており、題材を通して自ら課題意識をもち、多面的・多角的に深く考えることができるようになっている。 ・題材をさらに深く考える視点として、主題名の下に「大切な10のポイントマーク」が示されている。 ③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な活動」などの多様な学習方法や活動形態等の充実 ・22の内容項目の道徳的価値を焦点化した「心の扉」を掲載し、題材と併せて自分自身のものの見方や考え方を深めていけるようにしている。 ・題材末の「学びにむかうために」のコーナーで、「意見交換」を通して考えることが示されている。 ・巻頭に「学級づくり」のコーナーがあり、言語活動を促すしくみになっている。 ④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関わる題材や、グローバル化が進展する国際社会に関わる題材、情報モラルなど現代的な課題に関わる題材の充実 ・いじめ問題を直接扱った題材と、いじめを防止する間接的な題材が、各学年で掲載されている。 ・情報モラルでは、見えない相手との問題の回避について考える題材が、全学年で掲載されている。 ・世界平和については、ユニセフ親善大使の活動、杉原千畝のビザ発給、カンボジアでの国連の活動が取り上げられている。 ・伝統や文化の継承を考える題材としては、水引、錦帯橋、相撲が取り上げられている。 ⑤生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫 ・題材ごとに自分の考えを記入する欄が設けられており、題材を通して自己をみつめ、今後に生かそうとする意欲を高めるようになっている。 ・家庭などで活用できるよう「さあ、楽しい夏休み！」の頁が示されている。巻末に、「保護者の方へ この教科書で目指すこと」を掲載し、家庭と連携して取り組むことができるようになっている。		
	(2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分や表記、その他使用上の便宜等 ・全35題材で、付録題材はない。 ・学習指導要領総則に示された重点項目については、特に複数教材を配置し、重点的に学びを深めていくことができるように配置されている。 ・「自然」、「世界・文化」、「命」、「人・社会」を「大切にしたい4つのつながり」として重点化して構成されている。 ・「学びの記録」が3回分と「一年間の振り返り」のページがあり、学びを確かめ、成長が実感できるつくりになっている。		

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【特別の教科】種目【道德】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の教科書番号	1年 723	2年 823	3年 923

観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現 ①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 ・題材名の下にはどんなことを考えていくのかを意識づける問いが、題材末には「学びの道しるべ」が示されている。 ・1年では自分自身に関することの教材を手厚く扱い、学年が上がるにつれて、人との関わり、集団と社会の関わりなどの教材に力点を置くよう配慮されている。 ②自分の経験やその時の考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材の充実 ・題材末の「学びの道しるべ」には、3つの問いが掲載されており、みんなで話し合ったり、さまざまな立場から考えたり、考えを広げ深めていったりする参考となり、多面的・多角的に考えることができるように配慮されている。 ・3年間を通して考える重点テーマとして、「生命の尊重」、「いじめと差別」、「情報」が示されており、どの学年の巻頭にもその題材が掲載されている。 ③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な活動」などの多様な学習方法や活動形態等の充実 ・役割演技や疑似体験を通して、題材の学びを深める「やってみよう」というユニット教材が各学年用意されている。実際に場面を演じて、学びを深めることができるよう配慮されている。 ・1年生の巻頭には、「道徳ってどんなふうに学習したらいいの？」というページがあり、道徳の学習の進め方が8つの視点で示されている。 ④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関する題材や、グローバル化が進展する国際社会に関する題材、情報モラルなど現代的な課題に関する題材の充実 ・いじめの問題をさまざまな側面から考え深めていくことができる題材が各学年複数あり、体系的に掲載されている。 ・生命倫理・情報モラル・社会参画など現代的な課題に向き合うことができる題材がどの学年も3つずつ掲載されている。情報モラルでは、情報社会でのルールやマナー、知らない人とつながることのよさと危険性について考える題材が全学年で掲載されている。 ・伝統や文化の継承を考える題材として、桂米朝、野村萬斎、博多祇園山笠が取り上げられている。 ⑤生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫 ・生徒の興味・関心を高めるために、巻末で各都道府県にゆかりのある人物とその言葉が取り上げられている。また、今後の日常生活に生かされるように、保護者や先生からのメッセージを記入する頁を設けている。 ・「けやき中」を舞台にした3学年通してのシリーズものの題材など、生徒の生活実態に合った教材が多く掲載されている。
	(2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分や表記、その他使用上の便宜等 ・30題材と付録題材が5つ取り上げられている。 ・各地域に根ざした郷土資料など「多様な教材」の活用は、補充教材との入れ替えで実現できる。 ・1時間1教材とし、コラムなどはつけないことで、学習内容の焦点化を図っている。 ・4つの焦点を判別しやすく色分けするなど、カラーユニバーサルデザインへ配慮がされている。

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【特別の教科】種目【道徳】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村
学年別の教科書番号	1年 724	2年 824	3年 924

観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現 ①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 ・題材の最初に内容項目、題材末に学びのテーマと考える観点が示されている。 ・「向上心、個性の伸長」に関わる題材が2つずつ発達段階を踏まえて掲載されており、自分自身の理解を深めるような構成になっている。 ・「生命の尊さ」に関する題材がどの学年も3つずつ系統立てて掲載されており、さまざまな観点から「命」について学びを深めることができるような構成になっている。 ②自分の経験やその時の考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材の充実 ・題材末に「学びのテーマ」とともに、テーマに迫る問いを示した「考える視点」、生徒が多面的・多面的な見方や考え方ができるための具体的なヒントとなる「見方を変えて」、考えを広げるヒントを示した「つなげよう」が記述されている。 ③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な活動」などの多様な学習方法や活動形態等の充実 ・1、2年の4、5ページに「『他者』との対話」や「『自分』との対話」が掲載されており、対話によって多様な見方ができるようにしている。 ・読み物資料で考えた道徳的価値を実際の活動で確かめたり、異なる道徳的価値が葛藤する題材で考えたりする「確かめよう」のページが設けられている。 ④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関わる題材や、グローバル化が進展する国際社会に関わる題材、情報モラルなど現代的な課題に関わる題材の充実 ・いじめ問題に関する題材とコラムの組み合わせが全学年で掲載されている。 ・情報モラルに関する題材とコラムの組み合わせが全学年で掲載されている。 ・伝統・文化の継承や発展を考える題材として輪島塗、村上大祭、障子、桃太郎の鬼退治が設定されている。 ・国際社会について考える題材として、異なる文化の人々との共生、アンネのバラ、ルワンダでの義足作りが設定されている。 ⑤生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫 ・生徒の興味を引き出すために、「巻頭詩・とびら詩」や考える楽しさを知る「なんだろう なんだろう」やさまざまな分野で活躍している方々からの直筆メッセージ「あなたへのメッセージ」が掲載されている。 ・題材後のコラムで、他教科の学習や生活に生かす視点、活動を促す視点が示されている。 (2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分や表記、その他使用上の便宜等 ・34題材と付録題材が2つ取り上げられている。 ・題材を4つのシーズンに分け、シーズンごとに振り返りを記入する「学びの記録」が巻末にある。 ・常用漢字に振り仮名をつけるなど、全ての生徒にとってわかりやすい表記になっている。

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【特別の教科】種目【道德】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
学年別の教科書番号	1年 725・726	2年 825・826	3年 925・926

観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現 ①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 ・題材ごとに、主題名が示されている。 ・題材末にねらいに迫るための問い（考えてみよう）が示されている。 ・学習した内容の理解を助けるコラム「参考」が第1、3学年で6頁、第2学年で8頁設けられている。 ・「向上心、個性の伸長」に関わって、自分の良さを活かして生きることを考える題材、今後どうなりたいかを考える題材、前向きに生きることを考える題材が設定されている。 ②自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることができる題材の充実 ・題材末に前向きに自分に生かすための問い（自分に+1）が示されている。 ・別冊「道徳ノート」に友達の意見を記入する欄が設けられている。 ・コラム「プラットホーム」や資料「参考」で、各教科や各地域などに関連して考えを深められるページが設定されている。 ③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」などの多様な学習方法や活動形態等の充実 ・役割演技や疑似体験を通して考えを深められるページが設けられている。 ・議論を促す題材に関連して、話し合いを通して考えを深められる「学習の進め方」のページが設けられている。 ④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等にかかる題材やグローバル化が進展する国際社会に関する題材、情報モラルなど現代的な課題に関する題材の充実 ・北海道から沖縄までの全国各地の地域の特色を生かした題材・コラムが掲載されている。 ・伝統や文化を受け継ぐ心を考える題材として、法の協鹿踊り、奈良筆、篠崎海道、ふろしき、浜口儀兵衛、能楽師が取り上げられている。 ・国際理解、国際貢献について考える題材として、異文化理解、エルトゥールル号の遭難、西岡京治、杉原千畝、マララ・ユスフザイが取り上げられている。 ・情報モラルに関する題材とコラムの組み合わせが全学年で掲載されている。 ・いじめ防止を全学年の重点項目とし、題材とコラムを組み合わせたユニットが複数配置されている。 ⑤生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫 ・別冊「道徳ノート」に1単位時間ごとの自己評価欄が設けられている。 ・別冊「道徳ノート」の巻末に保護者記入欄（学期ごと）が設けられている。
	(2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分や表記、その他使用上の便宜等 ・全35題材で、付録題材はない。 ・別冊で「道徳ノート」がついており、1教材1ページで構成されている。

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【**特別の教科**】種目【**道徳**】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	224	発行者の略称	学研
学年別の教科書番号	1年 727	2年 827	3年 927

観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現 ①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 ・題材末に問いの例が示されている。 ・学年ごとに、生徒の発達の特質に応じたテーマを設け、該当項目に複数題材が掲載されている。（第1学年「みんなと生きる」、第2学年「社会に生きる」、第3学年「世界で生きる」） ②自分の経験やその時の考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることができる題材の充実 ・全学年の巻頭に生徒が主体的に学べるよう「考えを深める四つのポイント」が示されている。 ・視点や内容項目の異なる関連情報からさらに視野を広げるための特設ページ「クローズアッププラス」が各学年に6～7頁設けられている。 ・1つのテーマに関連する複数の教材を連続させたユニット教材が設けられている。（「地球と地域の未来のために」、「スポーツの世界で共に輝く」） ③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」などの多様な学習方法や活動形態等の充実 ・活動を通して考える「深めよう」の頁が各学年4頁設けられている。 ・「深めよう」の中には役割演技を取り入れた「やってみよう」、話し合い活動を取り入れた「話し合おう」が示されている。 ④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に係る題材やグローバル化が進展する国際社会に関わる題材、情報モラルなど現代的な課題に関わる題材の充実 ・日本の各地域に関連した題材が掲載されており、岡山県に関連した題材として緒方洪庵が取り上げられている。 ・伝統や文化を受け継ぐことを考える題材として、狂言・筑前琵琶・落語、五色桜、金閣、ねぶた、白川郷が取り上げられている。 ・国際理解、国際貢献について考える題材として、嘉納治五郎、エルトゥールル号の遭難、カンボジアでの地雷除去、国際協力師、杉原千畝が取り上げられている。 ・情報モラルでは読み物資料だけでなく、携帯電話のマナー、歩きスマホの危険性などのコラムが各学年に掲載されている。 ・いじめ問題への対応として様々な内容項目の題材が各学年複数回掲載されている。 ・人物に関わる題材では、現在活躍する人を、各学年で1題ずつ取り上げている。 ⑤生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫 ・題材に関連した情報から考えや視野を広げる「クローズアップ」の頁が設けられている。 ・巻頭に入學・進級時の自分を見つめる「プロフィール」の頁、巻末に1年間の振り返りをする「心の四季」の頁が設けられている。また、第3学年では未来の自分への手紙を書く「未来の扉」の頁が設けられている。 ・写真やイラストが多い。 (2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分や表記、その他使用上の便宜等 ・全35題材で付録題材はない。

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【特別の教科】種目【道徳】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	232	発行者の略称	廣あかつき
学年別の教科書番号	1年 728・729	2年 828・829	3年 928・929

観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現 ①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 ・題材ごとに、「学習の手がかり」として主題と問いが示されている。 ・「道徳ノート」は内容項目ごとにまとめられており、主題名が大きく示されている。 ②自分の経験やその時の考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考えることができる題材の充実 ・題材ごとに、「考えを広げる・深める」問いが示されており、内容がさらに深められるようになっている。 ・題材に関連した話題を取り上げた「thinking」のページが3回設けられている。 ・内容項目と対応する「道徳ノート」のページが示されており、自分の立場で考える問いが多く示され、記録を残せるようになっている。 ③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」などの多様な学習方法や活動形態等の充実 ・「道徳ノート」があることにより、書く活動が充実できるようになっている。 ・「道徳ノート」に話し合い活動の記録のページが設けられている。 ④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に関する題材や、グローバル化が進展する国際社会に関わる題材、情報モラルなど現代的な課題に関わる題材の充実 ・伝統文化を尊重し継承を考える題材として「太鼓職人」「相馬野馬追」「姫路城の大柱」が取り上げられている。 ・国や郷土を愛する態度に関わる題材として「アップルロード作戦」「国」「千年先のふるさとへ」が取り上げられている。 ・国際理解・国際協力に関わる題材として「国際協力の生徒作文」「マザーテレサの奉仕活動」「エルトゥールル号の遭難」が取り上げられている。 ・各学年とも、巻末で情報モラルと持続可能な社会に関するページを設けている。また、いじめ問題では、加害者や傍観者の立場も考える題材が全学年で取り上げられている。 ⑤生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫 ・各題材の最後に先人や著名人の名言が掲載されており、道徳的諸価値のさらなる理解を促したり、生き方について考えを深めたりすることができる。 ・「道徳ノート」にグラフや表が掲載されている、
	(2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分や表記、その他使用上の便宜等 ・全35題材で、別冊に内容項目別の道徳ノートがある。 ・長い間親しまれている教材が多い。

平成31年度使用中学校教科書研究報告書

教科【特別の教科】種目【道徳】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号、	233	発行者の略称	日科
学年別の教科書番号	1年 730	2年 830	3年 930
観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現		
	①道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫		
	・題材の番号が内容項目の番号と対応している。		
	・題材末に問いの例が示されている。		
	・寛容な心を育む項目では、各学年にワーク方式を取り入れている。		
	・「向上心、個性の伸長」に関わる発達段階を踏まえて、自分の良さを伸ばすことを考える題材、自分の将来を考える題材、先達の生き方から学び、話し合う題材が設定されている。		
	②自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることができる題材の充実		
	・題材末に「考え、話し合ってみよう そして深めよう」のコーナーが設けられ、問いが複数示されている。		
	・巻頭に「多様な考えを知るために」という6つのポイントが示されている。		
	③「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」などの多様な学習方法や活動形態等の充実		
	・「書いてみよう」、「話してみよう」の頁が設けられている。		
	・全学年の巻頭に「道徳科って何を学ぶの?」、「教科書の使い方」の頁が設けられ、学習方法が紹介されている。		
	④身近な地域や我が国の伝統、文化、人物等に係る題材やグローバル化が進展する国際社会に関わる題材、情報モラルなど現代的な課題に関わる題材の充実		
	・伝統や文化の継承について考える題材として、陸奥宗光、江戸時代の生活、野中兼山、早船狂言、和田勇、上杉鷹山、宮大工、小泉八雲が取り上げられている。		
	・国際理解、国際貢献として考える題材として、台湾のダム建設、真珠湾での花火打ち上げ、エルトゥールル号の遭難が取り上げられている。		
	・情報モラルでは、ネット・コミュニケーションを考える題材が各学年に掲載されている。		
	・いじめ問題への対応として、いじめを直接扱った題材と間接的に考える題材が設けられている。		
	⑤生徒の興味、関心、意欲を高め、生徒が自主的、自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭などで活用したりできるような創意工夫		
	・巻末に「心の成長の振り返り」、「道徳の授業の振り返り」「これからの心の成長を考える」頁が設けられている。		
	・学習した内容から考えや視野を広げるコラム「もっと知りたい」が各学年複数掲載されている。		
	(2) 内容の構成・配列、全体の分量および配分やの表記、その他使用上の便宜等		
	・全37題材が掲載されている。		
	・題材の番号が内容項目に対応しており、内容項目順に掲載されている。		